

CS 活動の様子をお知らせします。

6月11日水曜日、第1回学校運営協議会を開催しました。学校運営協議会は、10名のメンバー（菅山区長、市行政経験者、地域学校支援者2名、祖父母の会会長、郷土史研究会代表、人権擁護委員代表、保護者代表（PTA会長）、CSディレクター、校長）と、事務局2名（教頭、教務主任）で構成し、年間3回の会合を行っています。校長から発信した経営方針やビジョンを承認していただき、子供たちにとってよりよい教育活動進めていくために、その実現に向けて意見を述べたり協力していただいたりします。1回目の今回は、校長からビジョンの説明後、授業参観で子供たちの様子を見ていただきました。後半は、グループに分かれ教職員と「地域と学校が一体になって子供を育てるには」をテーマに話し合いました。短い時間でしたが、たくさんの意見が出され、今後の菅山小学校の学校運営に生かしていきたいと思います。

「授業に参加して」

- ・みんな落ち着いている。じっくり学習している。
- ・絵から子ども達が文を考えた。その言葉から優しい気持ちが伝わってくる。
- ・見出しやタイトルを考えるってよい学習だと思った。タブレットも普通に使っている。
- ・意見が活発。エネルギーがあり、楽しそう。
- ・お米の学習、今の問題と重なった学習でよい。
- ・自分の考えを聞いてもらいたい、友達も聞きたいという思いが伝わってきた。
- ・どのクラスも、一体感を感じる。対話がよい。
- ・意見が活発、こだわりのある考えがよい。
- ・地域のこととつながる学習が多い。自由に発言できる雰囲気がいよい。



「学校運営協議会委員と教職員との話し合い」

- ・子供たちが活躍する場が地域にもあるといいですね。
- ・あいさつができる子が多いですね。そこから、もっとかかわっていききたいです。
- ・命を守る、危機感を感じる防災について考えさせたいですね。



- ・地域行事が昔よりも少なくなったけど、ふるさと祭りや水鉄砲大会には多くの子が参加してくれる。学校では、地域探訪、田んぼ、昔の遊びなども…ありますね。
- ・あいさつを進んでしてくれる。気軽に声をかけてくれる。上級生を見て自然に出てくる感じがする。



- ・地域がつながっていくのはお祭り、おどりの練習などを通して、地域の方と出会う場があるといいね。
- ・学校のやりたいことはPTAの方はわかるけど、地域にもっと発信できるといいなあ。



- ・コロナによって地域の様々なことが変化した。コロナ前に戻すというより、今あるものの中でしっかりやっていくことが大切。
- ・世代も変わってきた。今あることを豊かにして、自然とやれるのがよい。